

血圧測定で、大切な社員の健康管理をサポート

健太郎




Japan Trucking Association



広報 とらつく

毎月1日・15日発行
12月25日号
発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5
全日本トラック協会会館
☎(03) 3354-1029 (総務部広報室)
<https://jta.or.jp>
※掲載に関するお問い合わせは記事掲載まで
(定休・年末年始を除く)の発行日の前日までにお願いします

政・労・使ドライバーの幸せを願い「更新制」の導入で一致結束!!

第53回物流政策懇談会 次期通常国会での成案を目指す



政・労・使がトラック運送業界発展のため意見交換を行う物流政策懇談会(12月16日、全ト協)

会議冒頭、国土交通省物
流・自動車局の鶴田浩久局
長、全日本トラック協会
長、全日本トラック協会
長、全日本トラック協会
長がそれぞれあいさつ。
特に鶴田局長は、坂本
会長が代表して全日本運
送業労働組合連合会(運
送労連)の代表として
「来年春の法改正を見
据え、私も行政も労
働組合の皆さんも目
指しているところは同
じであり、またこの
スピード感も並大抵の
ことではない。坂本会
長の決意に敬意を表
する。また、政労使で
政策的対話を重ね、
新しい提案に限らず
協力して進めたい」と
述べた。また、坂本
会長は「行政側の協力
を惜しまない。この
方向を聞き非常に心
強い。この時勢を踏
まえ、労使一致結束
し、来年こそ実りあ
る結果を得たい」と
述べた。また、坂本
会長は「行政側の協力
を惜しまない。この
方向を聞き非常に心
強い。この時勢を踏
まえ、労使一致結束
し、来年こそ実りあ
る結果を得たい」と
述べた。



鶴田 浩久
国土省 物流・自動車局長



坂本 克己
全ト協会長

国土交通省は12月16日、第53回「物流政策懇談会」を開催し、行政、労働関係団体、トラック運送事業者が一堂に会し、適正運賃収受やトラックドライバーの労働条件改善などに向けた取り組みなどについて意見交換を行った。特に、坂本克己会長が12月5日の第208回理事会で、「事業許可更新制」を柱とした、適正競争を推進するための貨物自動車運送事業法の改正と、それを担保するための特別措置法の成立を目指すことを表明した。これについては、政・労・使が一致結束して法改正に向けて取り組み姿勢が確認され

も労働組合の皆さんも目指しているところは同じであり、またこのスピード感も並大抵のことではない。坂本会長の決意に敬意を表する。また、政労使で政策的対話を重ね、新しい提案に限らず協力して進めたい」と述べた。また、坂本会長は「行政側の協力を惜しまない。この方向を聞き非常に心強い。この時勢を踏まえ、労使一致結束し、来年こそ実りある結果を得たい」と述べた。

運輸関係3労組委員長がコメント発表

実運送事業者が正当な対価を受取り、トラックドライバーが果たしている役割に相応しい賃金水準への引き上げと労働条件を改善する上で、事業許可更新制の導入は有効である。我々もともに実現を目指したい。

全日本建設交通一般労働組合(建交労)



足立 浩
中央執行委員長

事業許可の更新制導入により適正な競争環境が整えば、企業が適正な収益を上げやすくなり、それによりドライバーの労働条件改善が図られる。早期の実現を目指し連携して進めていきたい。

全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)



織田 正弘
中央執行委員長

事業許可の更新制については、安全対策の観点やドライバーの社会的地位向上のため運輸労働としても従来から主張してきたことであり、賛同するところである。議員立法による成立を目指し、スピード感をもって議論していきたい。

全日本運輸産業労働組合連合会(運輸労連)



成田 幸隆
中央執行委員長

成田中央執行委員長も「事業許可の更新制は、我々も主張してきた事項であり、賛同する」と述べた。懇談会ではまず、国土交通省・自動車局の三輪田優子・自動車局の鶴田局長や三輪田優子・自動車局の鶴田局長や三輪田優子・自動車局の鶴田局長が、国交省・経済産業省・農林水産省による審議会の合同会議の取組みと内容、「トラックと物流Gメン」への改正と体制の拡充、「トラックと物流Gメン」への改正と体制の拡充、「トラックと物流Gメン」への改正と体制の拡充について説明した。続いて、運輸労連の坂井俊文中央書記次長(産業政策部長)、全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)の眞正和トラック部会事務局長、全日本建設交通一般労働組合(建交労)の鈴木

「大口・多頻度割引の継続、最大50%割引への拡充」など実る

トラック運送業界関係 補正予算の概要

- ▽物流の革新と持続的成長に向けた中長期計画を踏まえた取組等の推進
国費：80億3,000万円 財政投融資：290億円
- ▽運輸業、海運業等における人材確保・育成等
国費：12億7,200万円
- ▽高速道路料金大口・多頻度割引の拡充措置の延長
国費：77億5,700万円
- ▽自動運転の普及・促進に向けた「道路システムのDX」の推進
国費：59億7,000万円
- ▽インフラ、交通、物流等の分野におけるGXの推進
国費：公共事業関係費212億6,600万円
非公共事業費2億0,200万円
- ▽生産性向上・地方創生に資する道路ネットワークの整備等
国費：856億3,500万円
- ▽国土強靱化に資する道路ネットワークの機能強化に関する対策
国費：公共事業関係費1,973億7,500万円
非公共事業費15億6,900万円

令和6年度補正予算・令和7年度税制改正大綱 業界の声を反映

令和6年度補正予算が12月12日に衆議院本会議で可決、続いて同日の参議院本会議で可決、成立した。また、同日には自由民主党、公明党の両党が、令和7年度税制改正大綱を決定した。これまで全日本トラック協会では、坂本克己会長を先頭にトラック関係施策に関する要望活動を積極的に展開してきた。それを受けて、このたびの補正予算と税制改正大綱では、トラック運送業界からの要望が色濃く反映されるものとなった。

補正予算(別掲)では、自動化・機械化・脱炭素化・物流標準化・データ連携等による物流の効率化、トラック・物流Gメンや改正物流法の着実な施行等による商慣行の見直しなど「物流の革新と持続的成長に向けた中長期計画を踏まえた取組等の推進」として80億3,000万円が措置された。また、「高速道路料金大口・多頻度割引の拡充措置の延長」として77億5,700万円が措置され、最大割引率を40%から50%に拡充する措置が令和8年3月末まで延長される。さらに、外国人材の受入環境の整備など「運輸業、海運業等における人材確保・育成等」に12億7,200万円が措置された。

税制改正大綱では、「中小企業経営促進税制」については、「中小企業経営強化税制」とともに特別措置の適用期限が2年延長された。また、中小企業の設備投資に係る固定資産税の課税標準の特例措置について、賃上げの後押しするよう見直しを行った上で、適用期限が2年延長された。

「自動車関係諸税の見直し」については、公平・中立・簡素な課税のあり方について、中長期的な視点から、車体課税・燃料課税を含めた総合的に検討し、見直しを行うとされたほか、「車体課税の見直し」については、取得時における負担軽減等課税のあり方を見直すとともに、自動車の重量および環境性能に応じた保有時の公平・中立・簡素な負担のあり方等について、関係者の意見を聴取しつつ検証し、令和8年度税制改正において結論を得るとした。

東海電子株式会社 無料セミナー・展示会情報

WEBセミナー 1/10 金 10:30-14:30

遠隔点呼 自動点呼

解説セミナー 1日で点呼のお悩み解決します!

※1/16(木)に埼玉で開催するセミナーと同じ内容ですのでご注意ください。

対面セミナー 1/16 木 14:00-17:00

どっちを選ぶべき? 徹底解説セミナー

遠隔点呼 OR 自動点呼

業務前自動点呼について分かる!

in 埼玉

TKP 大宮ビジネスセンター

WEBセミナー 1/17 金 13:30-14:30

専門講師による飲酒教育セミナー

飲酒運転は事故ではなく事件です!

今こそ知るべきお酒の知識

展示会 1/22(水)~24(金) 10:00-17:00

スマート物流 EXPO

物流DX/ロボット/カーボンニュートラル展

東京ビッグサイト 南ホール

東海電子ブース番号 S20-40

グリーン経営認証で環境にやさしい取組を!

認証取得後8トン以上のトラックで3.1%の燃費向上、車両故障件数20.9%減少。交通事故発生件数25.9%減少など(グリーン経営認証取得による効果・2022年版より) 環境改善にとどまらない効果。

対象業種	日時	会場	主催	問合せ先
トラックバス、タクシー	2月17日(月) 13:30~16:30	AP 横浜 B 1004 (4階) 神奈川県横浜市西区北幸2-6-1 ONEST 横浜西口ビル	関東運輸局	エコモ財団 グリーン経営講習会係 ☎03-5844-6276 ※ガイダンスの2階を申し込んでください
トラックバス、タクシー	2月19日(水) 13:30~16:00	オンライン	中国運輸局	中国運輸局 交通政策部 環境・物流課 ☎082-228-3496
トラックバス、タクシー	2月26日(水) 13:30~15:30	オンライン	九州運輸局	エコモ財団 グリーン経営講習会係 ☎03-5844-6276 ※ガイダンスの2階を申し込んでください
トラックバス、タクシー	2月中旬(予定)	オンライン	東北運輸局	東北運輸局

※講習会は、エコモ財団の担当者がグリーン経営について説明します。既に認証登録をされている事業者の皆様も参加も可能です。

グリーン経営ホームページ <https://www.green-m.jp/> 「認証基準」、「取組事例」など詳細は [グリーン経営](https://www.green-m.jp/) で検索

公益社団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル 10階
(略称:エコモ財団) グリーン経営事務局 ☎03-5844-6276 <https://www.ecomo.or.jp>

ニュース・ターミナル (官公庁ニュース等)

令和7年7月ごろに延期

高速道路の深夜割引見直し時期



【国土交通省】NEXCO東日本、NEXCO中国、NEXCO西日本の高速道路会社3社は12月25日、高速道路の深夜割引見直し時期について、運用開始時期を「令和7年7月ごろに延期する」と発表しました。...

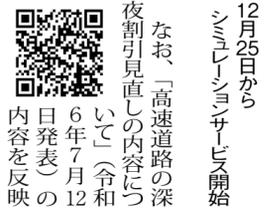
見直し後の深夜割引の概算額を算出できる機能を開発。NEXCO各社に追加した(12月25日から公開)。...



国土交通省では、このほか「標準的運賃Q&A集(写真)」を作成し、全道協HPからダウンロード可能。...

国土交通省では、このほか「標準的運賃Q&A集(写真)」を作成し、全道協HPからダウンロード可能。...

国土交通省は12月12日、物流・自動車局長名で、企業から無作為に抽出した6400社を対象に実施された調査結果を労働政策の立案・評価の基礎資料等に活用。...



「標準的運賃Q&A集」を作成し、全道協HPからダウンロード可能。...

国土交通省は12月12日、物流・自動車局長名で、企業から無作為に抽出した6400社を対象に実施された調査結果を労働政策の立案・評価の基礎資料等に活用。...

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流ハートナーシップ」優良事業者表彰

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流ハートナーシップ」優良事業者表彰を受賞者を発表しました。...

国土交通省は12月19日、「自動車物流道路に関する検討会」を開催

国土交通省は12月19日、「自動車物流道路に関する検討会」を開催しました。...

国土交通省は12月10日、「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」を開催

国土交通省は12月10日、「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」を開催しました。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定しました。...

国土交通省は12月16日、「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定

国土交通省は12月16日、「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定しました。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定しました。...

【国土交通省】物流分野における中小企業庁が設置し、「企業取引研究会(座長・神田秀樹東京大学名誉教授)」は、12月17日に開催した第6回研究会において、下請代金支払遅延等防止法(下請法)改正に向けた報告書(案)を取りまとめた。...

慣習の問題に関しては、発注主が運送事業者に対して物品の運送を委託する取引の類型を新たに下請法の対象取引としていくこととすべきとした。...

道路貨物運送業者では、取引価格が引き上げられた割合が低く、価格転嫁円滑化の取組に関する特別調査の結果を公表した。...

「利用者目線の施設整備」を馬渡副会長求める。物流拠点の今後のあり方に関する検討会。...

「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

倉庫協会(二社)日本冷蔵倉庫協会(一社)全日本トラック協会(一社)日本トラック協会(一社)全国トラックターミナル協会からのヒアリングを実施。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における輸送の安全確保の徹底」を策定。...

降積雪期における輸送の安全確保の徹底 [バス、タクシー、トラック等共通] ①気象情報(大雪や暴風、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。)や道路における降雪状況を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。...

小さな休憩が大きな安全を生む。プロも疲れる。疲れ、眼気に目をさます。休憩を。...

NS物流研究会(会長 樋口恵一川崎陸送)代表取締役は12月7日、第16回「物流関連セミナー」を開催。...

価格転嫁推進への改善策とその実施スケジュール 今年3月に引き上げた標準的運賃の活用拡大を目指し、その周知徹底を図るほか、荷主・物流事業者への契約内容の明確化等の規制措置を導入する改正物流法の来年4月からの施行や、多量下請構造の是正に向けた実態調査を踏まえた検討を進めるなど、関係者が一体となってドライバーの賃上げの原資となる適正運賃を収受できる環境整備を進める。...

法令クイズ マルバツ 法令クイズ ~飲酒運転編~ ①飲酒をしても、その後6時間以上経過していれば運転しても差し支えない。(○×) ②自転車の酒気帯び運転には罰則が適用されない。(○×)...

全日本トラック協会の主な活動

- 1月 1日 「令和6年能登半島地震」発生を受け、「令和6年能登半島地震対策本部」を設置。国が行うプッシュ型緊急物資輸送に対応し、指定公共機関の大手運送事業者等7社と連携して緊急物資輸送体制を構築(写真①②)。なお、17日からは激甚災害融資の公募を開始
23日 「令和6年新年賀詞交歓会」を開催(写真③)
29日 全日本建設交通一般労働組合中央運輸労使協議会からの要請に対応
2月 16日 坂本克己会長が政府主催「物流革新・賃上げに関する意見交換会」に出席し、物流革新とドライバーの賃上げの重要性を強調
令和5年度青年部会全国大会を開催
29日 タンクトラック・高圧ガス部会 堀田正二部会長、全国石油商業組合連合会に対し「タンクローリー荷卸し時における相互立会い完全実施の徹底」について要請
3月 6日 タンクトラック・高圧ガス部会、石油連盟に対し「タンクローリー荷卸し時における相互立会い完全実施の徹底」について要請
7日 第204回理事会・第18回全国貨物自動車運送適正化事業実施機関本部長会議を開催
「令和6年能登半島地震」により甚大な被害を受けた石川県トラック協会(久安常信会長)に対し「災害見舞金」を贈呈(写真④)
「多重下請構造のあり方に関する提言」を公表
4月 3日 坂本克己会長をはじめとする全ト協正副会長が、自由民主克トラック輸送振興議員連盟(加藤勝信会長)総会に出席
16日 交通対策委員会(工藤修二委員長・当時)、「大型車の車輪脱落事故要因に関するWEB説明会」を開催
5月 13日 バングラデシュ政府職員(道路技術者) 6人が来協(写真⑤)
14日 坂本克己会長が、全国道路利用者会議(古賀誠会長)の第76回定時総会に出席
「物流の2024年問題」に対するトラック運送業界の取り組みを説明するため、坂本克己会長が自民党「物流調査会」(会長・今村雅弘衆議院議員・当時)に出席
20日 タイ運輸省職員10人が来協
29日 青年部会(金井健蔵部会長・当時)、専修大学北上高等学校(岩手県北上市・阿部伸校長)で整備実習用トラック寄贈式を開催
6月 6日 第205回理事会を開催
国会議員およびトラック関係省庁の代表とトラック運送事業者が情報交換をするため「政・官・業・情報交換会」を開催(写真⑦)。工藤修二交通対策委員長(当時)が重大事故発生を受け「事故防止宣言」を発令
中国交通運輸部の職員6人が来協
第101回通常総会(写真⑧)・第206回理事会を開催
国土省・防衛省と「自動車運送業等および自衛隊における人材確保の取組に係る申合せ」を締結

(2024年) この1年 回顧



運輸関係行政等の主な動向

- 1月 2日 政府「令和6年能登半島地震」の発生を受け、国土交通省を通じ、全日本トラック協会・指定公共機関(大手運送事業者等7社)に対し、プッシュ型での緊急物資輸送を指示
10日 斉藤鉄夫国土交通大臣(当時)、「一般貨物自動車運送事業に係る「標準的な運賃」の告示について運輸審議会(堀川義弘会長)に諮問
26日 国土省、トラックGメンによる「集中監視月間」(令和5年11月・12月)の取り組み結果を公表
2月 1日 厚労省、テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業への特別教育を義務化
6日 国土省、第5回「国土交通省物流政策推進本部会合」を開催
7日 国土省、令和5年度第2回「事業用自動車健康起因事故対策協議会」(座長・酒井一博「公財」大原記念労働科学研究所主管研究員)を開催
13日 国土省、「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の告示に関する公聴会」を開催
国土省、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」の閣議決定を発表
16日 政府「物流革新・賃上げに関する意見交換会」を開催
21日 国土省、第1回「自動車物流道路に関する検討会」(委員長・羽藤英二「東京大学大学院工学系研究科教授」)を開催
28日 国土省、第1回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」(座長・永井正夫「東京大学大学院工学系研究科教授」)を開催
29日 国土省、「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の告示案」について、標準的な運賃として定めることが適当である旨、運輸審議会が国土交通大臣に対して答申したと発表
3月 22日 国土省、標準貨物自動車運送約款等を改正
国土省、新たな「標準的な運賃」を告示
国土省、令和5年度第3回「運行管理高度化ワーキンググループ」(座長・加藤博和「名古屋大学大学院環境学研究科教授」)を開催
28日 国土省、第2回「自動車物流道路に関する検討会」を開催
29日 国土省、「旅客自動車運送事業運輸規則に基づく運行の管理に関する講習の実施要領及び貨物自動車運送事業安全規則に基づく運行の管理に関する講習の実施要領の一部を改正する告示」を公布・施行
政府、特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する基本方針等を変更し、特定技能制度の対象分野に「自動車運送業」を追加することを閣議決定
4月 1日 大型貨物自動車および車両総重量8トン以上の中型貨物自動車(大型貨物自動車等)の高速道路における最高速度を時速80キロから90キロに引上げる改正道路交通法を施行
「自動車運送業者の労働時間等の改善のための基準の一部を改正する告示」の適用およびそれに伴い、「貨物自動車運送事業安全規則の解釈及び運用について」の一部改正し施行
高速道路の料金水準について「3つの料金水準」を継承(令和5年3月31日まで)
法務省・警察庁・外務省・厚生労働省・国土省、「自動車運送業分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針」に係る運用要領を取りまとめ
「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」が成立(写真⑥)
5月 14日 国土省、第3回「自動車物流道路に関する検討会」を開催
24日 政府、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の一部の施行期日」を定める政令」を閣議決定
31日 農林水産省、第2回「農林水産品・食品の物流に関する官民合同タスクフォース(TF)」(TF長・宮浦浩司農水省大臣官房総括審議官「新事業・食品産業」)を開催
6月 1日 国土省、改正標準貨物自動車運送約款等を実施
阪神高速道路(株)・西日本高速道路(株)、近畿圏の新たな高速道路料金を導入
国土省、業務前自動点呼の先行実施要領に基づき、業務前自動点呼に係る先行実施事業を開始
政府「経済財政運営と改革の基本方針2024」賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現(骨太方針2024)を閣議決定
国土省、第5回「紙加工品(衛生用品分野)物流研究会」(座長・矢野裕児「流通経済大学教授」)を開催
国土省、第4回「自動車物流道路に関する検討会」を開催
国土省・経済産業省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商務流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第1回合同会議(座長・根本敬則「敬愛大学特任教授」)を開催
国土省、「官民物流標準化懇談会パレット標準化推進分科会」の最終とりまとめを公表

7月6日	▽星野良三全日本トラック協会名誉会長が逝去
11日	▽第225回常任理事会・第207回理事会合同会議、政経懇談会を開催
8月21日	▽国交省に対し「道路情報の電子化に関する要望書」を提出
8月28日	▽広報活動の多様化を図るため全ト協公式SNS(LINE、X)を開設
9月11日	▽トラック運送業界からの最重要要望事項を提出するとともに、「物流の2024年問題」に対する取組を説明するため「公明党トラック議員懇話会」(当時・北側一雄会長、現在・赤羽一嘉会長)に坂本克己会長をはじめ全ト協正副会長が出席
13日	▽「全国道路利用者会議」理事会に坂本克己会長が出席し決議文を力強く発表
18日	▽「物流の2024年問題」をテーマに岸田文雄内閣総理大臣(当時)と坂本克己会長および盛山正仁文部科学大臣(当時)、山崎薫専務理事、松崎宏則専務理事が面談(写真⑨) ▽女性部会(原玲子部会長)、令和6年度「全国研修会」を開催 ▽国交省および警察庁に対し「高さ指定道路の指定に関する要望書」を提出 ▽国交省に対し「重さ指定道路の指定に関する要望書」を提出 ▽「全国トラック協会会長会議」を開催
10月2日	▽第21回「トラックの森」植樹式を熊本市の雁回公園で開催(写真⑩)
3日	▽第29回「全国トラック運送事業者大会」を熊本市の熊本城ホールで開催(写真⑪)
10月10日	▽「全国道路利用者会議」で第74回全国大会に坂本克己会長が出席
26日	▽第56回「全国トラックドライバー・コンテスト」を開催(写真⑫)。28日には表彰式を開催し、4部門・宮城県代表の中根誉士さん(日本通運(株)仙台支店国内航空貨物部仙台航空事業所カスタマーサービス課)が内閣総理大臣賞を受賞(写真⑬)
11月14日	▽「適正取引委員会」(平島竜一委員長)が初会合
19日	▽坂本克己会長が赤澤亮正経済再生担当大臣に対し、トラック運送業界の要望事項を説明
20日	▽坂本克己会長が加藤勝信財務大臣に対し、トラック運送業界の要望事項を説明(写真⑭)
27日	▽水野功副会長が自民党団体総局運輸・交通関係団体委員会・国土交通部「予算・税制等に関する政策懇談会」でトラック運送業界の要望事項を説明 ▽ダンプロック部会(岡田安正部会長)、建設関係団体等に対し「標準的運賃」の収受に向けた支援を要請(写真⑮)
12月3日	▽ドライバーをカスタマーハラスメントから守ることおよびドライバーの社会的評価の向上に繋がる対策を講じるため「ドライバーの社会的評価の向上に係る検討委員会」(松田直樹委員長)が初会合 ▽第208回理事会を開催
5日	▽自民党自動車議員連盟主催「自動車政策懇談会」で水野功副会長がトラック運送業界の要望事項を説明
13日	▽2024年度引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)69事業者の認定事業者を発表
16日	▽2024年度安全性優良事業所(Gマーク事業所)9056事業所を発表
24日	▽重量部会(内宮昌利部会長)、鉄骨・橋梁部会(高地高照部会長)、鉄鋼部会(三村文雄部会長)、国交省に対し「特殊車両通行制度に関する要望書」を提出

令和6年 トラック 年表



⑭



⑫



⑩



⑮



⑬



⑪



⑨



7月4日	▽国交省、第2回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」を開催
9日	▽国交省、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会「第24回物流小委員会」(委員長:根本敏則、敬愛大学経済学部教授)を開催
19日	▽国交省、第5回「自動物流道路に関する検討会」を開催
22日	▽公取委・中企庁、第1回「企業取引研究会」(座長:神田秀樹東京大学名誉教授)を開催
24日	▽国交省、第13回「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」を開催
25日	▽政府、第5回「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」(議長:林芳正内閣官房長官)を開催(写真⑯)
29日	▽国交省、「自動物流道路のあり方 中間とりまとめ」を公表
30日	▽国交省、全ト協に対し「民間団体等による貨物自動車運送の適正化に関する事業の推進について」の一部改正を通過
8月23日	▽国交省、第3回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」を開催
26日	▽国交省、第1回「トラック運送業における多重下請構造検討会」(座長:野尻俊明流通経済大学名誉教授)を開催
30日	▽国交省・経産省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第2回合同会議を開催
9月17日	▽西日本高速道路(株)、中国自動車道・鹿野サービスエリア(SA)下り線で「出発時間指定大型車3列駐車マス」の試行運用を開始
19日	▽国交省、ダブル連結トラックの対象路線を拡充(5140キロメートル→6300キロメートル)
26日	▽公取委・中企庁、第2回「企業取引研究会」を開催
28日	▽国交省・経産省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第3回合同会議を书面開催
10月1日	▽東日本高速道路(株)、東北自動車道・佐野SA下り線で「長距離輸送におけるドライバー交替の実証実験」を実施(写真⑰)
3日	▽国交省、行政処分基準を改正し飲酒運転等による行政処分を強化
7日	▽国交省、第6回「自動物流道路に関する検討会」を開催
24日	▽公取委・中企庁、第3回「企業取引研究会」を開催
30日	▽公取委・中企庁、第4回「企業取引研究会」を開催
11月1日	▽国交省、第1回「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」(座長:大島弘明流通経済大学流通情報学部教授)を開催
5日	▽国交省、「トラックGMEN」を「トラック・物流GMEN」に改組、地方運輸局等の物流担当部署職員と各都道府県トラック協会が新たに設ける「GMEN調査員」を追加して体制を拡充(写真⑱)
6日	▽警察庁、自転車運転中の「ながらスマホ」・酒気帯び運転・補助等を罰則の対象とする改正道路交通法を施行
11日	▽国交省、農水省・経産省・日本物流団体連合会・日本ロジスティクスシステム協会、第4回「官民物流標準化懇談会」(座長:根本敏則敬愛大学経済学部特任教授)を開催
26日	▽国交省、令和6年度第1回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催
27日	▽第2次石破内閣が発足し、国土交通大臣に公明党・中野洋昌衆議院議員が就任
28日	▽国交省・経産省・農水省、「交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第4回合同会議」を開催
12月4日	▽公取委・中企庁、第5回「企業取引研究会」を開催
19日	▽国交省、新東名高速道路(駿河湾沼津SA・浜松SA)で自動運転トラックの公道走行実証実験を公開
24日	▽国交省、自動車運送分野の特定技能1号評価試験の開始を発表
27日	▽国交省、第2回「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」を開催
28日	▽公取委・中企庁、第6回「企業取引研究会」を開催
29日	▽国交省、第7回「自動物流道路に関する検討会」を開催
30日	▽国交省、令和6年度第2回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催

「パートナーシップ構築宣言」特集

荷主と運送会社の「共存共栄の関係」を目指して

荷主企業とのパートナーシップ構築が

ドライバーの待遇改善実現に繋がる



政府では、中小企業・小規模事業者... 多くの運送事業者による取引条件のしわ寄せを防止... 宣言をさせていただいたための環境づく

（株）藤井運送における取り組み（茨城県水戸市）

業務効率化を目指す県の助成申請を機に... パートナーシップ構築宣言の重要性を認識



小坪 正広 代表取締役

「当社では補助金を活用して... ドライバーの労働時間削減実現に繋げる

荷主企業と取引運送事業者が定期的な交渉の場を設ける... ドライバーの労働時間削減実現に繋げる

（株）藤井運送は、飲料、食料、紙製品・原紙、パレットの輸送のほか、自動車部品を県内のカーディーラーへ配送する



同社では、飲料、食料、紙製品・原紙、パレットの輸送のほか、自動車部品を県内のカーディーラーへ配送する

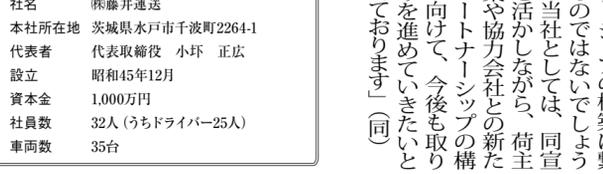
同社は「パートナーシップ構築宣言」を知ったきっかけは、茨城県が県内中小運送事業者を対象に、業務効率化に資する機器やシステムの導入経

最近、輸送に際して、何か困っていることはないか、着荷主先で付帯作業を強要されているなど、負担となるようなことがあれば情報提供するように、と発荷主企業の担当者から言われることが増えたという。同社においても、荷主企業の担当者に対して「物流の2024年問題」について粘り強く説明してきたこともあり、物流に対する意識が、物流に對する意識が受け入れられてきたという。

同社では公表されているデータを活用しながら、荷主企業との交渉に臨んでいる



配車業務に自動配車ソフトを導入したことで、物流コスト軽減や配車担当者の負担軽減に繋がっている



茨城県水戸市の本社のほか、城里町には配送センターを構えている

企業プロフィール

社名 (株)藤井運送
本社所在地 茨城県水戸市千波町226-1
代表者 代表取締役 小坪 正広
設立 昭和45年12月
資本金 1,000万円
社員数 32人(うちドライバー25人)
車両数 35台

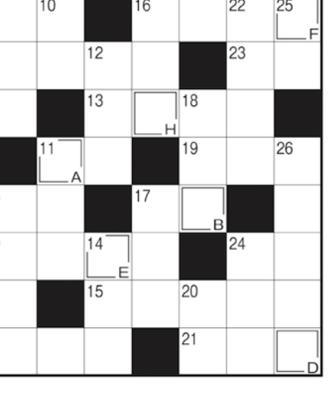
ヨコのカギ

- 1 シマウマ。横断歩道を〇〇〇ゾーンともいいます
2 日本三景の一つ。安芸の宮島ともいいます
3 〇〇を承知をお願いします
4 鐘がゴーンと鳴ったあとに響く、〜ンンン〜
5 ネギをしょってくると嬉しいコンビニでも売っているホカホカしたもの。甘くないです
9 パパの方の親戚。〇〇〇〇のおじさん
11 気〇〇 血〇〇 〇〇力
13 トラックのは乗用車のより大きいのが一般的
15 留守番電話に残すもの
16 本人にはわからないようにしながら他の人に知らせちゃう
17 〇〇を詰めて仕事をする
19 テールライトともいいます
21 ひいきチームが勝ったので、今日の〇〇〇は上々だ

タテのカギ

- 1 確定申告のときなどに行くことも
5 松葉 ずわい 毛
7 〇〇〇も化学も苦手なので生物を選択しました
8 あの人は〇〇〇〇置いてるんだ
10 〇〇あれば苦あり
11 〇〇〇エージングで老化防止
12 その朝一番に出る列車やバス

クロスワードを解いて二重枠に入った文字をAから順に並べてできる言葉は何でしょう?



- 14 顔を隠したい舞踏会でつけるもの
16 大型二輪の免許は18歳〇〇〇では取れません
17 これに入るとなかなか出られない暖房具
18 マツタケの〇〇〇蒸し
20 ごほんごほん
22 金属元素の一つ。〇〇〇〇ブルーは明るい青
24 〇〇〇ミラー 急〇〇〇
25 スニーカー パンプス
26 ひな壇で三人官女の下にいるコンビの若い方

パズル制作：ニコリ

相棒は、大切に作るもんだ。
純正ブランドメーカーとの直接取引 / 愛車に優しい低燃費フィルター
最高の製品をベストプライスで!!
ピーコックエレメント製造株式会社

技術で夢を"カタチ"にする会社
TEL: 03-3458-0891
Mail: info@pgf-japan.com
HP: https://www.pgf-japan.com/

経済産業省

取引先との持続可能な関係を築くために「パートナーシップ構築宣言」特集

「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表しましょう！

「パートナーシップ構築宣言」は、輸業・郵便業でも1689社が宣言... 取引先との関係構築を促進し、持続可能な関係を築くための宣言です。

1 「パートナーシップ構築宣言」とは？

取引適正化の重点5課題について宣言... 望ましい取引慣行の実現を目指す

2 宣言を行うメリット

補助金の加点等の優遇措置のほか... 宣言関連の融資制度が利用可能に

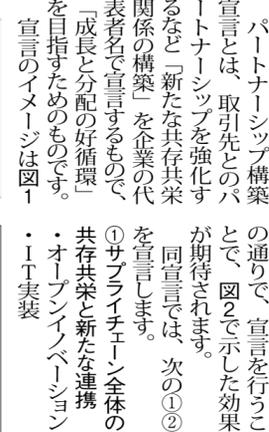


図2 宣言を行うことで期待できる効果

- ・新たなパートナーシップ 規模・系列を超えた連携
・適正な取引価格の実現
・下請代金の支払条件改善



「パンくわえたヘビが地球にのっかってるという初夢をみたんだけど...」

法令クイズ

- × (法第65条第1項) 飲酒をして...
● × (法第65条第1項、同117条の2)
● × (法第65条第4項) 車の運転者

4 宣言取組事例集

取り組みの概要などのポイントを紹介... 事例集を参考に共存関係構築を



マイナンバーカードと運転免許証の一体化

令和4年に行われた道路交通法の改正により... 7年3月24日全国運用開始!

1 制度の概要

免許証の種類が3タイプに

マイナンバーカードと運転免許証を一体化... 運転免許証の有効期間切れに注意

2 一体化のメリット

住所変更手続き等が楽に

オンライン更新講習の受講も可能... オンライン講習(優良)

労務Q&A

忘年会の帰り電車に接触、通勤災害の適用は

通勤災害についてお尋ねします... 忘年会の帰り電車に接触した場合の適用について

A 少しの飲酒は許される

【解説】労働者災害補償保険法... 少しの飲酒による通勤災害の適用について

トラック運送事業者のための

経営のヒント

今年最後のコラムになった... 今年を振り返ると「事業を遂行する条件の骨格が大転換した年」といえる。

物流ジャーナリスト 森田 富士夫

変化を象徴するのは「荷主の定義」

1ドで「物流危機」を回避... 4月26日には改正物流法が公布された。5月15日には国土交通省、経済産業省、農林水産省の3省審議

「物流危機」を回避... 4月26日には改正物流法が公布された。5月15日には国土交通省、経済産業省、農林水産省の3省審議

全ト協 第7回「次世代新技術対応小委員会」

令和9年のレベル4自動運転トラック輸送事業スタートに向け技術開発を推進

自動運転大型トラック見学・同乗試乗を実施



今回の見学会・同乗試乗に使用された、T2の自動運転トラック(第一世代車)。今年5月には新型実験車両が登場している

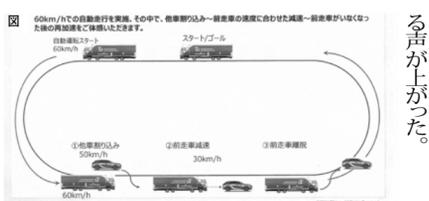
表2 自動運転レベルの概要

レベル	対応主体		対象地域
	通常時	緊急時	
0 支援・自動化なし	運転手	運転手	—
1 運転支援(縦 or 横)	運転手	運転手	限定領域
2 部分自動化(縦&横)	運転手	運転手	限定領域
3 条件付き自動化	システム	運転手	限定領域
4 高度自動化	システム	システム	限定領域
5 完全自動化	システム	システム	無制限

(出典: 株 T2 発表資料)

表2は、自動運転レベルの概要を示している。レベル2自動運転では、ステアリングと加減速が自動化されるものの、ドライバーによる常時監視が必要となる。レベル3(条件付き自動化)では、限定領域において、緊急

見学会では、同テストセンターの高速周回路を利用した同乗試乗を実施した。試乗内容は図の通りで、自動運転トラックのドライバーがハンドルから手を離れた状態で時速60km/hでの自動走行を実施。その後、自動運転トラックの前に割り込んでくる車の速度に合わせて自動的減速。前走車が離脱した後、再び加速した。



(出典: 株 T2 発表資料)

安全な走行のため最新鋭システムを導入 高速道路での自動走行が可能に

表2は、自動運転レベルの概要を示している。レベル2自動運転では、ステアリングと加減速が自動化されるものの、ドライバーによる常時監視が必要となる。レベル3(条件付き自動化)では、限定領域において、緊急

3 見学会での同乗試乗 他車の割り込みに対応して自動で加減速 出席委員は「安定した走行」を評価

見学会では、同テストセンターの高速周回路を利用した同乗試乗を実施した。試乗内容は図の通りで、自動運転トラックのドライバーがハンドルから手を離れた状態で時速60km/hでの自動走行を実施。その後、自動運転トラックの前に割り込んでくる車の速度に合わせて自動的減速。前走車が離脱した後、再び加速した。

2 自動運転トラックとは?

表1 同社の事業スケジュール

事業スケジュール	トラック保有台数
令和6年度 トラックでの実証実験および事業開発	
7年度 レベル2自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	7月までに5台
8年度 レベル2自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	年度末までに50台
9年度 レベル4自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	同150台
10年度 インターチェンジ付近の一般道における自動運転実現	同500台
11年度 事業エリア拡大(九州・四国)	同1,200台
12年度~ レベル4トラックトレーラー輸送事業	13年には2,000台規模での輸送を行う

(出典: 株 T2 発表資料)

自動運転を可能とする最新技術

- ① 前面上部に設置された複数台のカメラで、前方の道路上の白線や前方を走行する車両などの対象物を高精度で認識。近距離では、極めて高い精度で物体を認識することができる
- ② 高精度衛星測位システム(GNSS)に対応したアンテナを上部に搭載。地球の上空を周回している人工衛星からの電波を受信し、自車の現在位置をcmレベルで正確に把握することができる
- ③ レーザー光を使い、周辺車両や歩行者、建物、障害物などの対象物との距離や形状、位置関係を測定するLIDARセンサー。夜間でも対象物の検知が可能。現在は前方左右の2か所に設置されているが、後方左右にも設置することで自車の周囲を360度監視可能となる
- ④ LIDARセンサー下部にもカメラを設置。側方の車両も認識することで、後方から追越してくる車両の動きをとらえる
- ⑤ LIDARやカメラ、GNSSなどで取得された情報を統合し、助手席側に設けられたモニターに表示。道路の形状や周囲を走行する車両の位置を正確に推定する。同情報は車内に搭載されたシステムに送られ、運転操作の指令・判断がなされる



2024・12・25

こちらが広報室 四季折々

▼私はまだ小さかったころ。寒い朝、小学校までの通学路に「霜柱」が現われ、そこを運動靴で踏み鳴らすと、「サクッサクッ」と優しい返事が返ってききました。手袋を外わすときの温度差で、白い息がパアッと広がりました。友人の「ダッシュ！」と言うや否や、一緒に居た4人が一斉に駆け出しました。息をハアハア切らしながら小学校までの短距離競争です。▼年月を経て、学生時代の冬休みに、住み込みでアルバイトをした信州・蓼科高原の老舗ホテル。そこで厳しい寒さは承知していましたが、「凍れる寒さとはこのことか」と、思い知らされました。この時に経験した信州の「霜柱」は、「サクッサクッ」と力強く、霜の厚さが音の違いに表れたのかも、私にはまだわかりません。豪雪で有名な新潟県高田市(現上越市)からアルバイトに来ていた学生が、「僕の生まれ育った土地は、寒さ半端ないですよ」と、真冬の生活を厳しさを切々と語っていたのを記憶しています。▼私と同年代で、稀代の

歌手・松山千春の名曲に「大空と大地の中で」があります。厳しい北の大地で一杯一杯に人を愛し、自然を愛し、生き抜く様子を、抒情豊かに歌った私の大好きな曲です。▼冒頭に季節ごとの営みが失われ、季節感が希薄になりつつあります。小学校時代の友人の1人は、真冬になると耳朶に霜柱ができていて痛そうでした。当時、万葉集と言われた「軟膏」は必需品でした。時折、昭和の時代を振り返りますが、やっぱりあの時代は何物にも代え難い「良き時代だったな」と感慨深いものがあります。▼「初霜」といえば、百人一首の中で、凡河内躬恒の「心霜」に「折らば折らば初霜の心を折らば折らば初霜の心を折らば折らば」と、白菊の花が思い浮かびます。真冬が到来し、一面に降りた初霜の中で白菊を探するのは難しいと、情緒と連想の中で人生において躊躇する事柄が多々あるが、意を決することが必ずある、と詠んでいます。▼年末年始は、10年に1度の「極寒」の天気予報が出ています。寒さ対策を十分に講じて、健康に新年をお迎えください!

(山崎 蕙)

広報室からのお願い

『広報とらつく』

読者アンケート実施中!!

1月15日(水)まで

経営者、管理者、従業員、ドライバーの皆様など読者ならどなたでも回答できます。

抽選で1,000名様にクオカードペイ1,000円分をプレゼント!

回答は二次元コードから!!

パスワード 5409 (12月15日から1月14日) 9655 (1月15日から2月14日)